

日本における、伝統的な都市、集落、神社、寺院等の占地(土地)の空間について、地形による空間構成という観点から分析を行ってきた。昨年発表(IV-118)の段階においては、現象分析の域を越えなかったけれども、今回は、それもまとまりがついたため、その結果について、地形空間の構造として発表した。また、その現実的な問題への展開についても、明らかにしておきたい。

1. 地形空間の構造

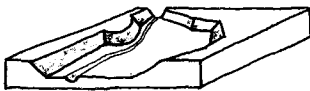
日本の伝統的な都市、集落、神社、寺院等の占地(土地)の空間を分析することにより、次の七つの典型的な地形空間のタイプを抽出することができた。

- A. 水戸神社型空間
- B. 秋津洲やまと型空間
- C. 八葉蓮華型空間
- D. 蔵風得水型空間
- E. 神奈備山型空間
- F. 国見山型空間
- G. 隠国型空間

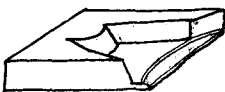
ところで、これらのタイプの空間は、次のような空間構成要素により、構造づけられているということができる。

1) 境界としての山、丘陵、川、海など。

たとえば、水戸神社、秋津洲やまと、八葉蓮華、蔵風得水、隠国型空間の周囲の山並み、丘陵、あるいは、水戸神社、蔵風得水、神奈備山型空間の川、池、海等である。



境界としての山や丘陵斜面あるいは川



境界としての山や丘陵斜面あるいは川、池、海

2) 目標、焦点、中心としての独立峰、独立丘、平地に突出した山、丘陵、谷の奥処、山頂など。

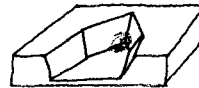
たとえば、神奈備山、国見山、水戸神社の丘陵、隠国などである。



目標中心としての独立丘



目標、焦点としての突出した山、丘陵



焦点中心としての谷の奥処

3) 方向としての そびえる山、地形の傾斜、地形の休閑と開放、川の流れ、方位など。

たとえば、神奈備山、国見山、八葉蓮華としての山岳盆地、神奈備川、隠国型空間の川の流しとせざる谷、蔵風得水型空間の方位、水戸神社型空間の川の流しや田地の緩傾斜等である。



方向としての高さ



傾斜としての方向



方向としての流れ



方向としての閑静と開放

4) 領域としての、山や丘陵あるいは川や海により境界づけられ、独立峰・独立丘あるいは平地に突出した山や丘陵、谷の奥地・山頂などにより集中化され、標高や傾斜あるいは川の流況などにより方向づけられた、盆地、平地、谷地、山の上と下、川の此岸と彼岸等である。

それは、先に抽出したタイプの空間にはかならない。

こうして、地形空間とは、これらの構成要素により構成され、構造づけられ、性格づけられているということが明らかになった。

2) それにおいて、地形空間として、どのような空間構成要素に着目したらよいかを明らかにすることができ。—— 重要要素の抽出

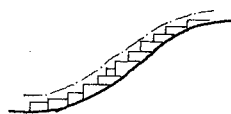
3) これらが明らかになった次元で、これらの空間構造・構成要素は、どのような大きさや性質の開発行為としてのinputと調和することができるとを明らかにするであろう。—— 空間構造と構成要素のsensitivityと開発inputのアセスメント→調和構成論の展開

以上のことは、背景としての地形・ランドスケープと調和した空間創造、環境デザインとは、いかなるものであるのかを明らかにするであろう。

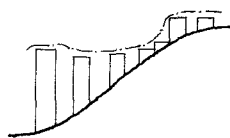
2. 環境デザインへの展開

このように、地形空間の構造を、明らかにすることができたわけであるが、この成果は、次のようなところで、環境デザインにおける、現実的な課題に、応用展開していくことが可能であろう。

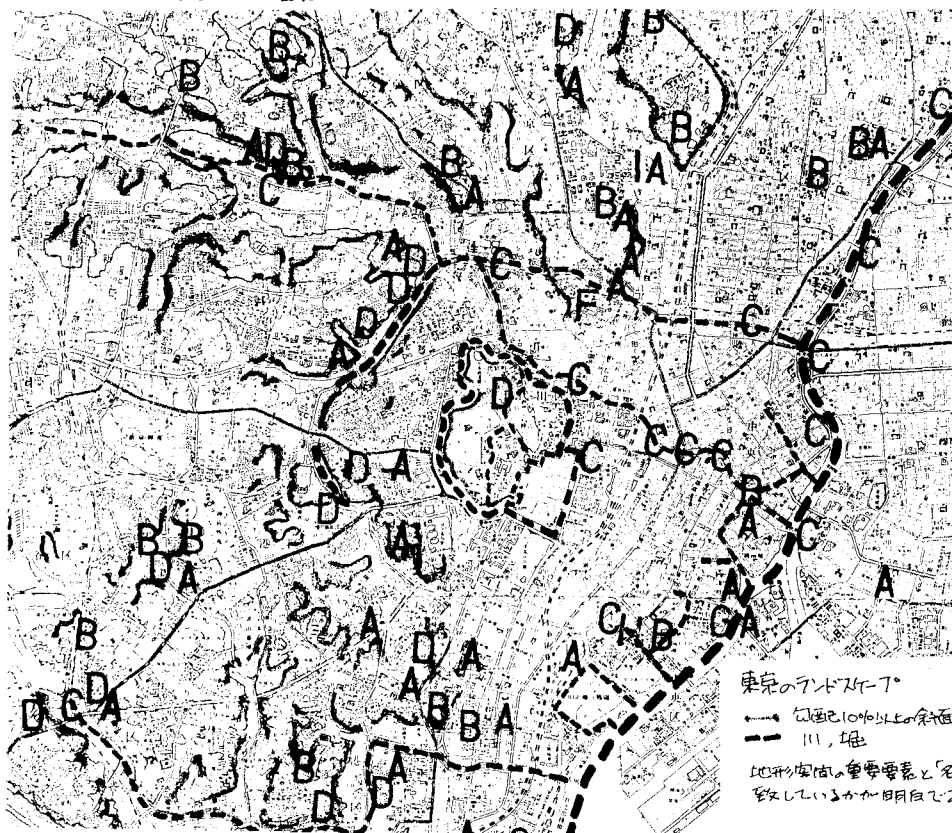
1) 問題となる現実的な地域は、地形空間として、どのようなタイプの空間をそなえているかを明らかにすることができ。—— 空間のゾーニング



地形と調和したinput



地形に対するoutrage



参考文献

- ル・バリエール・シエリ「環境空間・建築」加藤訳。
- オ・F・ホルン「都市主義・発展の問題」須田訳。
- ヒルナン「都市のイメージ」丹下富雄訳。
- ロ・バリエール「構造・人類学」荒川四郎訳。
- P. Faye et M. Tournaine
- "Théories sur l'aménagement et la Protection des Sites" Organisme.
- "L'Homme et le Territoire" AA No. 164, Oct.-Nov. 1972.

東京のランドスケープ

- 勾配10%以上の斜面 AB...「区名」
 - 川、堤 図録上のこの記号
- 地形空間の重要要素と「名称」といかに一致しているかが明白である。